

平成30年度 協賛一覧

紐の渡敬、川勝商事(株)、カネリ(株)、藤井絞(株)、なをし屋、(株)京正、染繻工芸 熊谷、京のじゅばんや 桂、浅見(株)、(株)京都キモノ・サービス、和染紅型栗山工房、(株)松寿苑、(株)多ち花、上坂元七商店、栗田捺染、(株)ゆうび、(有)和晃苑、(株)染織工芸むつろ、(株)安田、一瀬商店、丸太遠藤(株)、京都おはりばこ、紫紘(株)、(株)丸装、平林きもの浸落店、菊地(株)、(株)きたつみ、(株)大塚、(株)大原商店、京都呉服青年会、(株)伊と幸、(株)市原亀之助商店、近江屋(株)、京商(株)、京都小泉(株)、(株)京都西川、久保商事(株)、啓明商事(株)、三京(株)、帯匠洛都、千切屋(株)、篠田商事(株)、西善商事(株)、(株)菱健、藤和(株)、(株)細尾、野田(株)、丸池藤井(株)、宮井(株)、丸昭(株)、(株)ロマンス小杉、和光(株)、西陣織物産地問屋協同組合、西陣織物産地問屋協同組合青年部会、(株)川中、川村博商店、木村卯兵衛(株)、(株)高岡、(株)長谷川、京都織物小売協同組合、京都織物小売協同組合青年部、染と織の専門店 (株)日野屋、呉服・和装小物 ひこ彌、美しいきもの 小林呉服店、岩田呉服店、きものサロン川崎、きものと帯 (株)中山、呉服・きものドクター (有)かたやま、京都友禅協同組合、京都友禅青年会議所、(株)米村染織、(株)日根野勝治郎商店、(株)美和、(株)関谷染色、安藤染工、万葉染織(株)、池田染工(株)、(株)菌部染工、(株)小糸染芸、(株)創作きもの松華苑、(株)京染せい山、(株)白木染匠、タケハナ染匠、(有)中川正商店、木村染匠(株)、(株)あをい染所、(有)尾嶋商店、染匠あめや藤本、(有)藤沢刺繻、(有)いち川、(株)に志山染匠、京友禅高橋啓、藤理工芸(株)、(有)村山刺繻店、(有)染の三喜、三興染工、染匠市川(株)、コマサン、京都工芸染匠協同組合、京都工芸染匠協同組合青年部、ヤマキ織物(株)、西陣帯地青年会

(順不同、敬称略、平成30年10月)

後援

京都府
京都市

公益財団法人京都産業21
財団法人京都和装産業振興財団



京都染織青年団体協議会

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78 京都経済センター3F
財団法人京都和装産業振興財団内 TEL.075-371-1300
<http://www.wasou.or.jp/kyogikai/>



京都染織青年団体協議会

本紙デザイン協力/大原和服専門学園



ご挨拶

京都工芸染匠協同組合青年部から出向し、平成30年度京都染織青年団体協議会の会長を務めさせて頂きました有限会社藤沢刺繍の藤澤栄治です。

平素は当会の活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。みなさまのご支援ご協力のおかげをもちまして今年度、京都染織青年団体協議会は発足40周年を迎えることができました。40周年の節目の年に会長という身にあまりの大任を務めさせて頂くことが出来、大変光栄に思っております。今日まで、当会を支えてくださいました皆様と関係団体のご支援とご指導の賜物であり、感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度「一致団結・伝承」を活動テーマにしていまいりました。下絵・糸目糊置き・引染・友禅・蒸し・金彩・刺繍・ろうけつ染等の伝統技術・技法を、そして京都染織青年団体協議会を伝承し次世代に繋いでいくために、加盟団体・関係団体と一致団結して和装振興に取り組みました。

今年度は「会員大会」、「鴨川納涼2018」、「長崎研修旅行」、「きもの和ッザニア」を開催いたしました。また京都で開催されました「きものサミット」や「ソフトボール大会」等関係団体、友好団体のイベントにも積極的に参加をして交流を深めてまいりました。今年度は大阪北部地震・西日本豪雨・北海道胆振地震、度重なる台風・猛暑など天災の多い年になり、京都でも大雨の影響で鴨川の護岸が崩落し鴨川納涼の開催が危ぶまれましたが、毎年楽しみにしているとの熱い声のおかげで無事開催することが出来ました。平成30年8月4日・5日の鴨川納涼2018当日は、猛暑の日になりましたが、タピオもなく2日間友禅流しのイベントを披露することが出来ました。ステージでは見本製を使用して、手描き友禅の工程と蒸し工程の説明をしました。加盟6団体と昨年に引き続き西陣帯地青年会さんも出店して、参加者は浴衣を着て鴨川納涼と一緒に盛り上げることが出来ました。

平成30年9月5日に開催されました京都きものサミットでは、2020年に開催されます東京オリンピック・パラリンピック部会を担当して、きものサミット宣言の中に2020年に向けた和装振興のあり方を議論し、サミット宣言に採択されました。懇親会では出向者も参加して大勢の参加者の皆様と交流することが出来ました。

平成30年11月23日に開催されました西陣帯地青年会さん主催のソフトボール大会に参加しました。協議会チームの一致団結の力で優勝することが出来ました。

平成31年3月2日・3日には研修旅行で長崎を訪れました。初日は世界文化遺産に登録されている炭坑として繁栄していた端島(軍艦島)に行き、労働環境を聞くだけでも危険と過酷さが解りました。閉山し無人島になって40数年が経ち、自然に朽ち果てた姿の街並みを見て近代化を支えた産業遺産の歴史を伝えて行かなければと思いました。2日目は世界文化遺産の大浦天主堂と出島散策、長崎原爆資料館に行き、特に原爆資料館では被爆した数々の展示、被爆者の遺品・被害の写真を二度と戦争はしてはいけないという思いを強くし、未来も平和であり続けるよう命の尊さを学びました。

軍艦島も原爆資料館も後世に伝えるべく「伝承」されており、奇しくも今年度の協議会活動テーマと同じ「伝承」であり、次世代に伝えて行く事の大切さは同じであるとの思いを強く持つことが出来、大変有意義な研修旅行になりました。また2日目着物を着て長崎を散策して、地元の方から「着物姿良いですね。」と声を掛けられる事が多くあり、着物をアピールすることが出来たと思います。

平成31年3月16日・17日にみやこめっせ地下1階特別展示場で開催しました「きもの和ッザニア」では、今年度大原和服専門学校さんと共催して学生に未来の着物・帯製作者になってもらえるように、伝統技術の伝承が出来ることを目的に、平成30年9月より「今自分が着てみたい着物」をテーマに図案考案・下絵・糸目糊置き・蠟伏せ・地染め・友禅・絞り・金彩・和裁仕立など、学生が製作した着物・帯を展示しました。絞り・絞り染・引き染工程の職人を見学し、学生も学んだ事を製作に活かすことが出来ました。当日は小中学生を対象にした和裁・墨流し・友禅・西陣織・金彩の5つの着物製作工程を体験できるブースを設けて、製作技法を知って関心を持ってもらい、未来の職人さんが出てくる事を目的に体験して頂きました。沢山の子供たちが体験することで、着物・帯の製作工程・技法に興味を示してもらう事が出来たと思います。また開催日は「伝統産業の日」でみやこめっせの他会場でも着物関連のイベントがあり、相乗効果でたくさんの方がご来場していただき協議会活動を大いにアピールできたことと確信しております。

今年度は協議会 Facebook活動ページでの発信を増やして、特に加盟団体の着物イベントを告知してまいりました。着物イベントを積極的に発信することで、新たな着物ファンを開拓することが出来たと思っております。これからの和装イベント告知にはSNSは欠かせないツールになったと思います。

最後になりましたが、出向3年目で会長の大役を引き受けまして、出向者も過去最少の人数になりましたが、色んな案を出し合い、一緒に取り組める学校等と協力して一つの事業を皆で作ってあげて一致団結しながら事業をすることが出来ました。一丸となって1年間取り組めた経験は忘れることの出来ない財産となりました。ご支援ご協力を賜りました京都染織青年団体協議会の加盟団体の皆様、関係団体の皆様に厚く御礼を申し上げますとともに、出向頂きましたメンバーの皆様には1年間大変お世話になり、本当にありがとうございました。

2019年度は「平成」が終わり新しい元号に変わる節目の年度になります。新たな京都染織青年団体協議会の幕開けになる1年になると確信しています。今後とも京都染織青年団体協議会の活動に倍旧のご支援ご高配を賜りますよう、よろしくお願いたします。

会長 藤澤 栄治



8月4日(土)・5日(日)の二日間にわたり鴨川三条～四条間河川敷にて「鴨川納涼 2018」に協議会和装振興事業として参加させて頂きました。ライトアップした鴨川で、例年ご好評を頂いている京都ならではの伝統的友禅流しの実演「友禅流しファンタジー」を京都友禅蒸水洗工業協同組合様のご協力で行い、来場のお客様には楽しんで頂くことができました。またブース出展ではそれぞれ個性のある出展をされており、青年会同士、西陣帯地青年会、協力団体との交流も活発にでき、今年度の出向者の絆もより深まったと思います。そして出展者には全員が浴衣姿で参加することで和装振興にも繋げることが出来ました。ご協力頂いた皆様には感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。

鴨川納涼委員長 柴田 剛志



友禅流しファンタジー
一日時 八月四日(土) 一回目 午後六時三十分より
二回目 午後七時四十分より
八月五日(日) 一回目 午後六時三十分より
二回目 午後七時五十分より
京都染織青年団体協議会



会員大会 6月7日(木) 京都ホテルオークラ



会長 藤澤 栄治



副会長 和田 洋祐



事務総長 山本 健太

第一部では古川監事より29年度決算報告、藤井監事より監査報告が行われました。その後、藤澤会長より30年度事業計画について報告されました。第二部では多くのご来賓のご臨席のもと、会員相互の交流が活発にされ盛大な会となりました。

会員大会委員長 加藤 大典



きもの和ッザニア

3月16日(土)・3月17日(日)

みやこめっせ 地下1階 特別展示場

今年度を締めくくる事業として「きもの和ッザニア」は、3月の16日・17日にみやこめっせ地下1階特別展示場にて開催されました。

未来の着物製作者の育成を図るという思いのもと、大原和服専門学園の学生の方々に、自分の着てみたい着物と帯の製作を依頼し、京職人たちの匠の技を各工程で見学して頂き、完成品を展示しました。また、製作風景を撮影・編集し作品ができるまでの様々な工程を映像展示しました。製作展示とともに小中高生を対象に「職人体験」、大人を対象に「きものよろず相談」のブースを設けました。開催期間中は「伝統産業の日」としてみやこめっせ内で様々なイベントが行われていたこともあり、たくさんの方々のご来場くださり、体験・相談ブースも多くの人に楽しんで頂くことができました。



展示の作品も学生の自由な発想でつくられた作品ばかりで驚かれる方、作品の完成度の高さに感心される方など、たくさんの反響がありました。初めて行う事業として何から何まで手探りで取り組んで開催された「きもの和ッザニア」でしたが、「また開催してほしい」といった声もたくさん頂き、不安の船出となりましたが、大きな成果となり感無量の気持ちでした。

また、従来とは違う製作者側からのアプローチとして和装振興を行うことができたのも大変意義のある事業になったと思います。「きもの和ッザニア」の開催内容、開催するまでの準備、そして当日の運営に至るまで、今年度のテーマである「一致団結・伝承」を表していたのではないかと感じました。

最後になりますが、今回「きもの和ッザニア」を開催するにあたり、多大なご協力を頂いた大原和服専門学園様、西陣織体験運営にご尽力頂いた西陣帯地青年会様、他にも多くの方々のおかげをもちまして「きもの和ッザニア」を無事開催できましたことに感謝とお礼申し上げます。

そしてお来場下さいました皆様に心より厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

きもの和ッザニア実行委員長 和田 洋祐



大原和服専門学園学生作品展示



大原和服専門学園

研修旅行

3月2日(土)・3日(日) 長崎県

今年度の研修旅行は3月2日(土)・3月3日(日)に長崎県で行いました。

1日目は長崎でも有名な軍艦島(端島)へ行きました。

軍艦島は世界文化遺産にも登録され明治時代から昭和時代にかけて近代化産業を支え炭鉱都として栄えた島であり、最盛期には5,300人が住み、日本経済を支え続けた島でした。その端島に上陸し、日本で初めて建築された高層マンションなどの建物等を見学しました。その後の軍艦島ミュージアムでは当時、軍艦島に住んでいた住人の方に当時の様子や労働状況などのお話を聞き、小さな端島の中には呉服屋さんがあったお話なども聞きました。

2日目は大浦天主堂、出島、長崎原爆資料館を見学しました。

大浦天主堂は江戸時代幕末の開国後に建立された日本に現存する日本最古のキリスト教建築物で現在に換算すると4億円もお金をかけて作られた建物でした。その建物や展示資料館を見学し日本二十六聖人殉教者などについて学びました。長崎原爆資料館では原爆投下に関する資料や写真、解説パネルなどを見学し戦争の悲惨さと平和の尊さを考えるよき時間が持て、自分の命の大切さ、そして人の命も大切にと考えさせられる時間がもてたと思います。

2日目には全員が着物で長崎の街を歩き、長崎の文化や伝統などを肌で感じる事ができました。少人数での参加ではありましたが、多くのことを学ぶことが出来たと思います。この研修旅行が次の和装振興や社業などに生かされればと思う実りある事業となりました。

研修旅行委員長 川崎 知保



京都染織青年団体協議会



京都染織青年団体協議会加盟団体

京都織物卸商業組合青年部 京都呉服青年会 京都工芸染匠協同組合青年部
西陣織物産地問屋協同組合青年部 京都友禅青年会議所 京都織物小売協同組合青年部

(順不同、敬称略、平成30年3月現在)

平成30年度 出向一覧

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 藤澤 栄治 (京都工芸染匠協同組合青年部) | 澤田 篤志 (京都工芸染匠協同組合青年部) |
| 和田 洋祐 (西陣織物産地問屋協同組合青年部会) | 泉 晃司 (京都織物卸商業組合青年部会) |
| 山本 健太 (京都呉服青年会) | 柴田 剛志 (京都呉服青年会) |
| 加藤 大典 (京都織物卸商業組合青年部) | 近棟 功 (西陣織物産地問屋協同組合青年部会) |
| 池田 泰久 (京都友禅青年会議所) | 川崎 知保 (京都織物小売協同組合青年部) |
| 岡村 真美 (京都友禅青年会議所) | 藤井 浩一 (京都呉服青年会) |
| 木村 芳次 (京都工芸染匠協同組合青年部) | 古川 貴士 (京都織物卸商業組合青年部) |
| | 片山 智之 (京都織物小売協同組合青年部) |